

# 読書感想文の書き方

高学年用  
下書き

感想文を書き始める前に、各段落の骨組みとなる、ことがらを書き出してみましよう。

本の題名

作者の名前

段落①書き出し (べ)うしてこの本を選んだか・この本を読んで自分のもった一番強い思いなど。( )

〈例〉この本はずっと家の本だにならなかつたけれど、難しそつで今まで読む気にならなかつた。けれど……／あきらめないうつては本当に大切なことだ。／ぼくは、自分が今どれほどラッキーなのか分かつて、おどろいてる。

段落②あらすじ (い)つ／(べ)ごで／だれが／なにをしたか、簡単に短くまとめよう。( )

〈例〉カンザスの少女ドロシーは、竜巻で家ごとオズの国へと飛ばされた。その後、ドロシーはオズの国中を旅してまわり、ついにカンザスへ帰る方法を見つける。

段落③自分の心の動き (この出来事におどろいて、こんなふう思った・この言葉が胸に刺さつたなど)。( )

〈例〉わたしの生きてるこの世界で、こんなにも多くの人々が飢えて苦しんでると知つて、おどろいたし、とても悲しくなつた。

段落④なぜ心が動いたのか (自分も似たような経験をしたことがあり、気持ちがよくわかるからなど)。( )

〈例〉ぼくがもし、そんな立場だつたら、きつとあきらめてしまつ。けれども、〇〇はどんなにうらやましてもあきらめなかつた。だから、ぼくは、よかつたと思つと同時に、ちよつとくやしう気がするのだ。

段落⑤本から学んだこと (〇〇が、どんなに大切なことかかつた・自分も〇〇でできるよつになつたなど)。( )

必要なら、この二つの段落を何度かくり返す。

〈例〉わたしの持つてる幸せを少しづつでも他の人に分けてあげたい。そのため……／たくさんの人が、研究を重ねて、今の便利な世の中が成り立つてることがわかつた。ぼくも大人になつたら、人の役に立つ技術を……

全部書けたら、下書き用の原稿用紙やノートに、感想文を書いてみよう。

